

令和7年度 学校経営にあたっての誓い

諫早市立本野小学校 永井 洋

このゴールの姿を目指し全教育活動を進めます。

1 令和7年度のゴール

子どもたち全員に、「心に残る財産」をもたせて次の学年、中学校へ送り出すこと。**がんばりやチャレンジを自信へ。**

「心に残る財産」とは？

○ 共生「和顔愛語」(わけんあいご)

- ・ 仲間と協働し 喜びも痛みも 分かち合うことができる

○ 自立「下学上達」(かがくじょうたつ)

- ・ 自分のことは自分でし 自分で考え それを表現(話す・書く)できる

○ 貢献「臍下丹田」(せいかたんでん)

- ・ 誰かのために汗を流し 人の役に立とうという 意欲をもつことができる

「和顔愛語」…穏やかな顔とやさしい言葉で人に接すること

「下学上達」…基礎的な段階から学び始め、最終的に深い学びに至ること

「臍下丹田」…へその下約9センチメートルあたりの所でそこに気力を集めると、健康を保ち、勇気が生じると言われている

自分の物語(人生)を自分の力で紡いでいくことができる力の基礎を育てたいのです

2 そのために教師が心掛けたいこと

- ①心の身体の健康。働き方、働きがいをもう一度考えてみる。
- ②とことん、子どもと向き合う。心と会話でつながる。
- ③とことん議論する。議論の中から仕事をつくっていく。
- ④判断基準は、子どもの今と未来にプラスになるかどうか。(子どものためになっているか)
- ⑤子ども、同僚を敬う。言葉遣い、仕草。互いに気持ちの良い仕事を。
- ⑥優先順位をつけて、すべきことはする。一方で、弱音、悩みを言える職員室にする。

「大人(先生)っていいな」と思ってほしいのです。

3 常に危機意識をもつこと

- ①教育活動は「安全第一」「命第一」「子ども第一」の計画で実施する。
- ②よくない情報ほど早く伝える。「おやっ」と感じたら声に出す。
- ③飲酒運転は絶対にしないし、絶対にさせない。
- ④体罰、暴言は絶対に許さない。見て見ぬふりもしない。
- ⑤個人情報等はルール通りに適切に管理する。

信頼は小さなことの積み重ねから生まれると思うのです。

学校を離れるときに「本野小学校に勤務できてよかった」と心から思えるように励みたい

